



「こんにちは 市長です」

11月1日号

大雨があったり台風がきたりすると「古戸」が気になる。利根川の堤防よりかなり低く、石田川の合流点でもあり水害でいつも悩まされている。昔のことだが、ささいな雨でもあふれ出す用排水堀があったり、改修のお手伝いをさせてもらったことがあるからだ。12日夜に、台風19号が上陸した。大型の雨台風である。午後、石田川沿いを歩いたが河川の水量はそれほどではなかった。大事にならないように、と願ったが。

15日の朝、古戸の様子がどんなものかと思い407号を下がってトンネルをくぐった。通りがかりの家の庭には水害で使い物にならなくなった家具や衣類が積まれている。こりゃ、だいぶやられているな、すぐに状況を察した。泉福寺に寄ってみた。一昨日、避難所になっていた九合行政センターで住職に会ったばかりである。あの時は住職に「大丈夫そうだよ」なんて気楽な話をしていたのだが、庭いっぱい立てかけられた畳、水に浸った家財道具を見て「こりゃ、えらいことだ」青くなった。周りの家も水がかなりの高さまで上がり家具などもぐちゃぐちゃ、散乱していた。「手が足りないんです」この集落は高齢者が多い、すぐに職員を派遣することにした。1週間で延べ200人を応援に出した。午後、「牛沢、牛沢団地」を一回りした。ここも床上浸水でひどい。車は急な増水で逃げ出せず、ほとんどがやられている。あれよあれよという間だったという。「今の車は水をかぶったら再起不能。この車をどうやって載せたらいいのか」、修理工場の社長はレッカー車を横目で見ながら頭をひねっていた。河川が決壊したわけではないのに水をかぶった。内水氾濫というのか、改善策を県とも相談していきたい。

ハツ場ダムがなかったら・・・。建設反対していた人たちはどんな検証をするのだろうか。